



伊予三島ロータリークラブ



「パンとサクランボ」 坂田 瑞来



No.19
令和3.11.5
第3272回



2021-2022年度国際ロータリーテーマ

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

2021-2022年度国際ロータリー会長 Shekhar-Mehta (シャカル・メータ)

事務局 四国中央市金生町下分789-1 四国中央商工会議所内
http://www.iyomishima-rc.jp TEL(0896) 58-3530
E-mail:iyomis@iyomishima-rc.jp FAX(0896) 58-6294
例会 金曜日 12:10~13:10
■会長/今村定生 ■幹事/井原博史 ■広報委員長/園部忠幸

ロータリー財団委員会

委員長 金 崎 敏 明



ロータリー財団とは

正式な名称は「国際ロータリーのロータリー財団」です。非営利組織で、ロータリー会員をはじめより良い世界を築こうというビジョンを共有する財団支持者の方々から自発的な寄付によってのみ支えられています。ご寄付はロータリー財団の補助金になり助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられています。『世界でよいことをしよう』との理念の下、財団支援者の自発的な寄付のみによって支えられています。国際ロータリーの目的を推進するための単独の信託機関として、全資産を維持、投資、管理、運営しています。

ロータリー財団の使命

ロータリアンが、世界で健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

寄付分類

①年次基金寄付金

ロータリーは、世界中の地域社会で、平和の推進、水と衛生の改善、教育の支援、地元経済の促進、母子の健康改善、疾病の治療・予防といった活動にあたっています。年次基金は、このような取り組みを支えます。

②恒久基金寄付金

年次基金が今日の活動を支える一方、恒久基金へのご寄付は、未来において持続可能なプロジェクトを実施するために必要な財源となります。恒久基金へのご寄付は投資され、元金が支出されることはなく、利用可能な収益の一部がロータリー財団プログラムを恒久的に支えます。また、遺贈のご寄付は、恒久基金となります。

③使途指定寄付

A. ポリオプラス

ポリオ撲滅活動を支援します。支援例：ワクチン投与、報告・モニタリング、症例分析、輸送手段、ヘルスキャンプの設置、広報活動など

B. ロータリー平和センター

C. グローバル補助金のクラブからの寄付 (Cash)

D. その他

地区補助金

地区補助金は、地区財団活動資金 (DDF) からの配分のみによってロータリー財団から支給されるものである。地区は、一つまたは複数のプロジェクトを支援するために、地区のシェア配分 (地区の3年前の年次基金への寄付および恒久基金 [シェア] 収益を合わせた額の50パーセント) の50パーセントまでを使って、年に1口の補助金を申請できる。

第3272回

例会記録

令和3年11月5日

開会 今村定生 会長

ニコニコ紹介

井原 伸君～

10月31日 長年の夢が叶いました。お世話になった皆様、応援して頂いた皆様、本当にありがとうございました。選挙の話です。

出席報告

出席会員 (35名中) 29名
出席免除 1名
出席率 82.35%

渡邊吉和君～

昨日、会社設立40周年を迎える事が出来ました。これもひとえに皆様のご支援があつてのことと、心より感謝しております。

これからも職業奉仕の理念の元、仕事を通じて地域社会に貢献出来るように努めますのでよろしくお願い致します。

会長の時間

○国際ロータリー～

桂 高司会員へ「PHF認証状とピン」

○誕生日御祝

井原 伸君 (2日)、園部忠幸君 (19日)
井原明子様 (3日)、高岡智恵美様 (14日)
今村栄子様 (26日)、藤田里佳様 (29日)

幹事報告

・例会変更通知

(観音寺東)

①日時 11月16日 (火) 夜間例会

場所 観音寺グランドホテル

②日時 11月23日 (火) 休会

(新居浜南)

日時 12月14日 (火) 夜間例会 (年末家族会)

誕生祝～井原 伸君、園部忠幸君、

井原明子様、今村栄子様、藤田里佳様

例会行事

ロータリー財団委員会

金崎敏明 委員長

11月26日プログラム予定

国際奉仕委員会

(定例理事会)

「伊予三島ロータリークラブ」訪問報告

姥 浦 昭 二

10月29日（金）私は妻との旅行途中に事前に予約を取付けてあった愛媛県四国中央市の「伊予三島ロータリークラブ」にメイクアップしました。四国中央市は旧伊予三島市と近隣市町村が合併して現在人口は8万4千6百人余であります。当市の主産業は製紙業、紙加工業で、エリエールの大王製紙や、エルモアのカミ商事、ユニチャーム本社工場があります。頂いたバナーも「紙」の文字がデザインされています。

伊予三島ロータリークラブは1958年（昭和33年）の創立で本年で63年目を迎える歴史と伝統のあるクラブです。現在会員数は35名で例会は12時10分開会点鐘で13時10分で終了です。当日のプログラムは土佐の高知で開催された地区大会の報告でした。コロナ感染継続中の開催の為地区内各クラブ4名までが参加出来、その他の会員はリモートでの参加との事でした。



開会点鐘後ロータリーソング「手に手つないで」を唱和し会長挨拶となりましたが、冒頭今村会長が来訪ロータリアンとして私と妻を紹介されましたが、私が本日（10月29日）誕生日である事を会員に伝え、机上のペットボトルを手にして全員で乾杯をして呉れた事には驚きました。更に四国中央市の伝統的産業の紙の水引で創られた来年の干支「寅の張り子」までプレゼントして下さいました。

会長挨拶が終わった後両クラブのバナー交換をさせて頂きました。交換を終えると今村会長から突然「姥浦さん折角遠方から遙々訪問して呉れたので何かお話をして呉れませんか」と言われた為、私は先ず七尾みなと RCの紹介、そして七尾市の紹介の中で和倉温泉、特に全国的に有名な日本旅館「加賀屋」さんをご存じでしょうかと尋ねましたら半数以上の会員が首を縦に振っていました。

最後に2610地区大会が来年5月14日、15日に七尾市和倉温泉で開催予定であり、七尾みなと RCのサークラブである七尾 RCから本年度の地区ガバナーが輩出されている事と大会懇親会を当クラブがホストする事を伝え、その頃のコロナ感染状況が許せば、伊予三島 RCの有志皆様にも是非参加下さいと PRしました。



伊予三島 RC の例会では女性会員 1 名を含む出席会員全員がスーツかジャケット着用でした。しかも幹事報告によると 11 月第一例会からはネクタイ着用を義務付けるとの事でした。例会終了後井原幹事に服装の事を聞きましたら、以前から例会はスーツ又はジャケット着用が義務化されており、クールビズの季節が終わればネクタイ着用も義務付けられているとの事でした。従って例会の雰囲気はとても品格が感じられ、私にとって良い刺激になった例会訪問となりました。

帰り際には会長、幹事や理事の方々が例会場の出口扉の外で整列して見送って下さり心くばりに感動しました。

蛇足ですが私は訪問に際し、七尾の特産品梅屋さんの銘菓を持参し会員の皆様に賞味して頂く様事務局へ預けて来ました。

今村会長（左）
井原幹事（右）

